

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	全国高校生短歌大会事業			事業コード	2393
所属コード	132600	課等名	ブランド推進課	係名	
課長名	吉田春彦	担当者名	菊池知美	内線番号	3742
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
体系	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード	1
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 盛岡ブランド推進事業 (010-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	18 年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

盛岡で生まれ育った歌人・石川啄木を顕彰するとともに、啄木が生まれ育った盛岡市にふさわしい、若い世代の短歌づくりを振興するため、全国の高校生を対象とした短歌大会を開催する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 18 年に、石川啄木生誕 120 年・宮沢賢治生誕 110 年を記念し「啄木賢治生誕記念事業」が実施され、当事業はその中の一つとして開始された。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

23 年度まで 6 回開催したことで認知されるようになり、今後も全国的な広がりが見込まれる。また、宮崎県日向市でも若山牧水に因んだ同様の短歌甲子園を企画・開催し、盛岡市の取組が優良な事例として取扱われるなど、今後とも全国をリードする短歌甲子園を展開する。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

全国の高校生

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
------	----	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

A 全国の高校生	千人	3347	3368	3300	3349	3300
B						
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

全国の高校生を迎えて第6回大会を開催したほか、復興応援短歌集を編纂し、被災地の高校などへ配布した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 応募チーム校数	校	42	49	40	42	50
B 応募チーム数	組	60	71	60	66	70
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

短歌に親しみ、石川啄木を育んだ盛岡の風土に興味を持つ。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 観光客入込客数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	万人回	459	444	472	466	490
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	6,500	6,500	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	4,500	4,500
	⑤その他()	千円	1,500	1,500	1,500	1,500
	A 小計 ①～⑤	千円	8,000	8,000	6,000	6,000
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	400	400	400	400
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,600	1,600	1,600	1,600
計	トータルコスト A+B	千円	9,600	9,600	6,100	6,100

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

全国の高校生が盛岡を訪れ、盛岡の先人と文化について知識や関心を深めることにより、観光客誘致につながる。

② 市の関与の妥当性

盛岡の先人と文化振興及び盛岡の知名度向上は、市がやるべき主要な事業である。

③ 対象の妥当性

事業の性質上、対象は全国の高校生であり、拡大または絞ることは考えられない。

④ 廃止・休止の影響

当事業により多数の高校生と引率者が来盛しており、また石川啄木を生んだ風土についても広く認知されている。事業の廃止はこれらの効果をなくしてしまうことにつながり、観光客の誘致にマイナスとなる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

事業について、より広く周知することで盛岡の知名度向上に資する。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

参加者は公募によっており、公平・公正である。

参加者は負担金を支払っており、公平・公正である。

(4) 効率性評価

民間からの協賛金及び参加者の負担金を増額することにより市の負担金を減額する。

運営については市民団体に委託しているが、参加者から市に求める役割は多く、課員が少ない中で対応しており、業務時間数を削減することはできない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

地元企業からの協賛金及び参加者の負担金を増額することにより市の負担金を減額する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

平成 23 年度は、予算枠の縮減により参加者からの負担金を増額したが、参加者の負担が多くなると、参加校数が減となる懸念がある。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

23年度は震災の影響で大会の開催も危ぶまれたが、震災を経験した短歌を愛する高校生の発表の場も作る必要であるという意見もあり、復興短歌集を作成した。

現在市の負担金と、一社の協賛金により運営しているが、長期の継続は困難なことから他にも多数の協賛事業者を募る。